

平成 22 年度 事業 計画

(自平成22年 3 月 1 日 至平成23年 2 月28日)

社団法人 溶 接 学 会

平成 22 年度において、本会は溶接研究の拡充振興および溶接教育の推進強化を目標として下記の事業を行う。

1. 全国大会 (定款 3 条 1 項)

1.1 春季全国大会

平成 22 年 4 月 20 日～22 日東京ビッグサイト (東京)

研究発表講演 (105 件), 特別講演「ロボット開発の現状と未来」, シンポジウム「見る・知る・使うー溶接の最新計測技術ー」(講演 6 件), フォーラム「先進エレクトロニクス実装の動向と今後の展望」(講演 5 件), 若手シンポジウム「Joint Conference of AWF Symposium and 6th JWS-KWJS Young Researcher Symposium」

1.2 秋季全国大会

平成 22 年 9 月 7 日(火)～9 日(木) (郡山)

研究発表講演、特別講演、溶接学会論文賞受賞講演 (1 件)

フォーラム「粒子積層による厚膜創成プロセスの最前線」, 若手会員のためのフォーラム, 技術セッション「厚板構造物の新しい溶接施工技術と品質保証 (案)」

2. 講習会 (定款第 3 条 1 項)

2.1 平成 22 年度溶接入門講座 (第 39 回)

会 期 平成 22 年 6 月 2 日～3 日

会 場 科学技術館 (東京)

2.2 平成 22 年度溶接工学夏季大学 (第 59 回)「溶接中堅技術者講座」

会 期 平成 22 年 7 月 28 日～30 日 (3 日間)

会 場 大阪大学工学研究科岡田メモリアルホール (大阪)

2.3 平成 22 年度溶接入門講座 (第 40 回)

会 期 平成 22 年 10 月または 11 月 (2 日間)

会 場 未定 (九州)

2.4 平成 22 年度冬季溶接講座 (第 1 回)「溶接中堅技術者講座」

会 期 平成 23 年 1 月 27 日～28 日 (2 日間)

会 場 未定 (東京)

3. 刊 行 (定款第 3 条 3 項)

3.1 溶接学会誌 自 79 巻 2 号 (平成 22 年 3 月号) 至 80 巻 1 号 (平成 23 年 1 月号) 8 冊

3.2 溶接学会論文集 (WEB 出版) 第 28 巻 2 号 (平成 22 年 4 月) ～第 29 巻 1 号 (平成 23 年 3 月) 4 冊

3.3 全国大会講演概要集 (第 86 集及び第 87 集) 2 冊

3.4 溶接学会技術資料を随時刊行する。

3.5 平成 22 年度溶接工学夏季大学教材「溶接中堅技術者講座」

3.6 Mate2011 17th Symposium on "Microjoining and Assembly Technology in Electronics" 論文集

4. 第 78 回通常総会

開催期日 平成 22 年 4 月 21 日

開催場所 東京ビッグサイト (東京)

- 議 題
- 1) 平成 21 年度事業報告承認の件
 - 2) 平成 21 年度収支決算報告承認の件
 - 3) 監査報告

4) 平成 22・23 年度理事・監事選任の件

5) 平成 22 年度事業計画承認の件

6) 平成 22 年度収支予算承認の件

7) 平成 22・23 年度代議員紹介の件

8) 名誉員推薦

9) 特別員推薦

10) 表彰の件

11) 溶接学会フェロー認定

5. 役員会

5.1 理事会

定例理事会を 6 回 (3, 4, 6, 9, 12, 2 各月) 開催 (5, 7, 8, 10, 11, 1 各月は休会) 及び必要あるとき開催

5.2 各業務担当理事会

必要あるとき随時開催

5.3 支部長会議及び支部幹事会

必要あるとき随時開催

6. 業務活動

6.1 企画委員会

学会誌やインターネットによる当該分野の国内外の情勢・学術情報の発信に努めるとともに、知的好奇心を刺激しながら、仲間意識を持てる研究者・技術者個人が参加したいと思えるソサエティとなるよう、学会全国大会や学会支部活動、研究委員会などのありかたを検討する。具体的には会員資格に応じたインターネットサービス、学会誌・論文集の形態、溶接接合技術の将来ビジョンを踏まえた全国大会・研究委員会の運営方法について検討する。併せて、「公益性のある一般社団法人」が行う事業の視点から学会活動の内容を検討する。

また、日本溶接協会との連携を進めることで、業界・社会のニーズを踏まえながら、我が国のものづくりにとって有益な学術発展につながる活動を行う。

6.2 溶接情報化委員会

年度内 4 回の定例委員会を開催し、本会の学術情報公開の基本方針に従い、本会の出版物、研究委員会資料等の情報発信形態等を検討すると同時に、本会 HP のメンテナンスを行う。また、JST を通した電子情報化を推進すると共に、JWES 溶接情報センターを通した日本溶接協会との情報化推進ワークを継続して行っていく。

6.3 編集委員会

溶接学会誌及び溶接学会論文集の編集及び刊行を行う。論文集は WEB 論文集として発行する。溶接学会誌各号の記事に対する学会員モニターによるアンケートを実施し、学会誌の内容充実を努める。当初 2 年間のアンケートの取りまとめ結果は、学会誌 (Vol.79 No.5 予定) にて報告する。年間の学会誌掲載記事より、ベストオナー賞候補者を選考する。溶接接合教室ー基礎を学ぶーの続編として、一応用編ーの企画を行う (Vol.80 No.2 より掲載予定)。溶接学会誌は創刊号からを対象として、科学技術情報発信・流通総合システム (J-stage) にて発行日から 3 年経過後に公開、溶接学会論文集は創刊号からを対象として発行直後から同サービス

にて公開する。英文誌 STWJ (Science and Technology of Welding and Joining) の共同編集に引き続き参加する。

6.4 論文査読・審査委員会

引き続き、インターネット利用による電子委員会をさらに推進し、査読期間の短縮を促進するとともに、投稿者と査読者がともに便利で使いやすい電子委員会システムへの改善に努める。原則年度内1回の全委員が集まる定例委員会を開催し、電子委員会システム遂行上の課題の確認と改善のための検討、およびインターネットのみでは伝わりにくい種々の意見交換および議論にあてる。なお、2010年11月開催の大阪大学接合科学研究所主催(溶接学会共催)の国際会議「Visual-JW2010」に関して、8WSと同様の方法で Visual-JW2010 論文から査読を経たものを溶接学会論文集に特集として掲載するよう対応する。

STWJ への推薦論文を選考し、同誌への投稿を推進することで海外への本学会研究活動の情報発信を引き続き進める。しかし、STWJ への推薦論文が減少傾向にあるため、その原因と改善を検討する。

6.5 全国大会運営委員会

- (1) 全国大会の企画・運営について審議決定及び実施する。
- (2) 講演概要集第86集及び第87集を発行する。
- (3) 平成22年度秋季および平成23年度春季全国大会プログラムを編成する。
- (4) 全国大会における35歳以下の研究者による研究発表に対し、溶接学会研究発表賞の審査・推薦を行う。
- (5) 科学技術情報発信・流通総合システム(J-Stage)を利用した発表及び投稿申込を実施する。
- (6) 全国大会をウエルディングショーと連携開催することについて引き続き協議する。
- (7) 概要集のCD-ROM化について引き続き協議する。

6.6 溶接教育委員会

- (1) 必要に応じて委員会を開催し、本会の普及・教育活動に関する課題について検討する。
- (2) 22年度IIW国際溶接技術者特認コースの試験実施に向けて、J-ANB・日本溶接協会と連携し、プロフェッショナル・インタビュー、プロジェクトワーク、最終筆記試験などの実施要領を検討する。
- (3) IIW特認コースの受験者のために、本部・支部主催の講座・講習会をモジュール毎に整理するとともに、受講者のニーズをヒアリングしながら、内容を企画立案し実施する。
 - 1) 平成22年度溶接工学夏季大学(前掲)
 - 2) 平成22年度溶接入門講座(前掲)
 - 3) 溶接技術実用講座(支部と共催)
 - 4) 新規企画講習会、セミナーなど
- (4) IIW第XIV委員会等と連絡し、各国と溶接教育について情報を交換する。
- (5) 溶接技術者・溶接技能者の育成のための学協会と教育機関(大学・高専・工業高校)の連携について検討する。
- (6) 日本溶接協会教育委員会と連携し、IIWスキームに準拠した溶接技術者教育用テキストの作成に向けた検討を行う。

6.7 国際交流委員会

必要ある時随時開催し、国際交流事業の企画立案及び実行態勢の整備を行う。

国際溶接学会(IIW)に参加する。日本、中国、韓国3ヶ国ジョイントシンポジウムの実現に向けて計画を推進する。アジア溶接連盟(AWF)の活動及びシンポジウムに引き続き参加する。

7. 若手会員の会

7.1 若手会員の会運営委員会

若手会員間のネットワーク強化・国際化を促進するとともに、地方支部での若手会員の活動を積極的に支援する。また、若手会員・学生員、および賛助員企業の学会活動に対する積極的な参加を促すことを目的に、若手会員・学生員、および賛助員企業に対して魅力ある各種イベント・事業を企画・実施する。さらに、学会員以外の方々にも参加していただき、学会員の増強・学会の広報の一助となるような行事を企画し、より幅広く活動を展開する。

7.2 イベント

- (1) 春季全国大会フォーラム(共催:(財)溶接接合工学振興会)
主題:第6回日本-韓国若手溶接研究者合同シンポジウム
(日韓で講演5件ずつ計10件)
日時:平成22年4月22日(木)9:30~12:30
場所:東京ビックサイト(春季全国大会開催会場)
- (2) 秋季全国大会フォーラム
主題:若手の研究ポスターセッションと交流会
日時:平成22年9月8日(水)17:00~18:30
場所:日本大学工学部(秋季全国大会開催会場)
- (3) 基礎セミナー(中国支部との共催)
日時・場所:平成21年8月(予定)、広島県または岡山県(予定)
- (4) 研究会・見学会1
日時・場所:平成21年5月(予定)、富山県工業技術センター
- (5) 研究会・見学会2(中国支部との共催)
日時・場所:平成21年7月頃(予定)、広島県西部工業技術センター
- (6) 研究会・見学会3(九州支部との共催)
日時・場所:平成21年10月頃(予定)、未定
- (7) 若手会員、地方支部および賛助員企業を支援するためのセミナー、勉強会、見学会等を開催する。
- (8) 若手会員間の交流活性化、若手会員活動の活性化、若手会員の増強などに資する提言を行う。

7.3 情報交換および広報

- (1) 溶接学会誌「若手会員の会自由編集のページ」に連載記事、活動報告等を掲載する。
- (2) 溶接学会誌に「スポットライト-若手の特集記事-」を掲載する。
- (3) ホームページに、活動報告、研究室・研究所紹介等の情報を掲載する。
- (4) メーリングリスト(E-mail)による情報交換を促進する。

8. 研究活動

8.1 研究推進部会

- (1) 随時開催し、各研究委員会の活動状況の把握及び調整並びに特別研究会、アドホック研究会及びミニ研究会等の設置についての起案・規模策定及び理事会への答申等を行う。学会活動の情報化に伴う研究委員会ホームページの拡充、研究委員会設置形態の見直し、国際化対応等について検討する。

- (2) 春季全国大会においてフォーラム（マイクロ接合研究委員会）を開催する。
- (3) 秋季全国大会においてフォーラム（界面接合研究委員会）を開催する。
- (4) 特別研究会「建築鉄骨における溶融亜鉛メッキ割れに関する研究」(中込忠男主査)
昨今の社会的状況から委員の出席が難しくなり、また、主な課題について一区切りがついたと考えている。平成19年の研究発表会以降の成果の整理を行い来年度一杯で活動を終了としたい。
- (5) 特別研究会「溶接・接合プロセスのビジュアル化最前線」(田中学主査)

本研究会は平成21年度をもって終了する予定であったが、成果物購入や新たな教育普及への活用に関するお問い合わせが続いていることを鑑みて、平成22年度末まで活動を延長することとなった(学会からの活動費は受給しない)。10月にはセミナーの開催を予定している。

- (6) アドホック研究会「FSWの品質保証に関する研究会」(安井利明主査)
2つの研究課題「塑性流動解析による接合不良部形成メカニズムの把握とその検出」と「非破壊検査による接合不良部位の定量的把握と機械的特性の評価」について研究を推進する。本年度も2か月に1度の予定で研究会を開催する予定である。
- (7) 溶接学会記念基金助成活動
「若手溶接技術者・研究者のグローバルネットワークの形成」委員会(佐藤裕主査)

平成22年4月22日(木)、溶接学会春季全国大会会場にて開催予定の日韓シンポジウム&AWFシンポジウム開催に対して講演者派遣を行う。

8.2 溶接構造研究委員会

- (1) 開催回 年4回数
- (2) 会 期 1回の会期は原則として1日または2日とする。
- (3) 開催期、開催地および内容

会合名	開催月	開催地	内 容
第186回	3月	東京	研究報告 5件(日本船舶海洋工学会材料・溶接研究会と合同委員会)
第187回	5月	未定	研究報告 5件
第188回	11月	未定	研究報告 5件
第189回	1月	未定	研究報告 5件

8.3 溶接法研究委員会

- (1) 開催回 年4回数
- (2) 見学会 地方開催時および随時
- (3) 会 期 1回の会期は原則として2日とする。
- (4) 開催期、開催地および内容

会合名	開催月	開催地	内 容
第210回	5月	東京	研究報告 5～6件
第211回	8月	大阪	研究報告 5～10件(夏のセミナー溶接アーグ物理研究分科会が主体)
第212回	11月	神戸	特別講演、特別シンポジウム(50周年記念大会)
第213回	2月	東京	研究報告 10～12件(溶接冶金研究委員会と合同)

JIW 第12委員会と協力して国際研究活動を行う

8.4 溶接冶金研究委員会(平成22年度に限り)

- (1) 開催回数 年3回(平成22年度に限り)
- (2) 見学会 地方開催時および随時
- (3) 会 期 1回の会期は原則として1日または2日とする。
- (4) 開催期、開催地および内容

会合名	開催月	開催地	内 容
第200回	5月	東京	研究報告 5～6件
第201回	8月	大阪	研究報告 5～6件 見学会
シンポジウム	10月	大阪	50周年記念シンポジウム
第202回	2月	東京	研究報告 10～12件(溶接法研究委員会と合同)

JIW 第9委員会と協力して国際研究活動を行う。

8.5 溶接疲労強度研究委員会

- (1) 開催回 年4回数
- (2) 見学会 地方開催時および随時
- (3) 会 期 1回の会期は原則として1日または2日とする。
- (4) 開催期、開催地および内容

会合名	開催月	開催地	内 容
第225回	4月	東京	研究報告 4～6件
第226回	7月	東京	研究報告 4～6件
第227回	11月	未定	研究報告 4～6件 見学会
第228回	1月	東京	研究報告 4～6件

8.6 高エネルギービーム加工研究委員会

- (1) 開催回 年3回数
- (2) 見学会 地方開催時および随時
- (3) 会 期 1回の会期は原則として1日または2日とする。
- (4) 開催期、開催地および内容

会合名	開催月	開催地	内 容
第64回	6月	東京	研究発表 5～6件、文献紹介、その他
第65回	10月	未定	研究発表 5～6件、文献紹介、その他
第66回	2月	未定	研究発表 5～6件、文献紹介、その他

JIW 第4委員会と協力して国際研究活動を行う。

8.7 軽構造接合加工研究委員会

- (1) 開催回 年4回数
- (2) 見学会 地方開催時および随時
- (3) 会 期 1回の会期は原則として1日または2日とする。
- (4) 開催期、開催地および内容

会合名	開催月	開催地	内 容
第89回	6月	東京	講演、研究報告 4～5件
第90回	9月	大阪	講演、研究報告 4～5件
第91回	11月	未定	講演、研究報告 4～5件 見学会
第92回	1月	東京	講演、研究報告 4～5件

他の研究委員会、他学協会と協力して活動する。

WG 活動を行う。

8.8 マイクロ接合研究委員会

- (1) 開催回 年4回数(平成22年度に限り)
- (2) 会 期 1回の会期は原則として1日または2日とする。
- (3) 開催期、開催地および内容

会合名	開催月	開催地	内 容
第93回	4月	東京	春季全国大会フォーラム・溶接連合講演会と合同
第94回	6月	東京	講演、研究発表 4～7件
第95回	10月	東京	講演、研究発表 4～7件
第96回	12月	東京	講演、研究発表 4～7件

- (4) ソルダリング分科会を開催する。

会合名	開催月	開催地	内 容
第49回	7月	東京	単独開催、テーマ設定方式
第50回	11月	東京	単独開催、テーマ設定方式

- (5) Mate 2011 シンポジウムを開催する。

8.9 界面接合研究委員会

- (1) 開催回 年3回数
- (2) 会 期 1回の会期は原則として1日または2日とする。
- (3) 開催期、開催地および内容

会合名	開催月	開催地	内 容
第84回	5月	東京	特別講演1件・研究発表 4～5件
第85回	10月	東京	特別講演1件・研究発表 4～5件
第86回	1月	東京	特別講演1件・研究発表 4～5件

JIW 第1委員会などと協力して国際研究活動を行う

9. 国内活動

- 9.1 日本溶接協会、軽金属溶接構造協会、日本学術会議材料工学委員会、日本非破壊検査協会、日本高圧力協会、腐食防食協

会、日本機械学会、日本材料学会、日本金属学会、日本鉄鋼協会、日本自動車技術会、日本工学会、その他関係学会との協力態勢を進め、本会の目標達成を図る。

9.2 支部活動を活発に行う。

10. 国際活動

10.1 JIW の活動を支援し、IIW の活動を通じて溶接に関する国際活動を行う。

10.2 各国学協会と各種情報、機関誌等を交換して積極的に交流を図る。

10.3 日本、中国、韓国 3 ヶ国ジョイントシンポジウムの実現に向けて計画を推進する。

10.4 アジア溶接連盟(AWF)の活動及びシンポジウムに引き続き参加する。

平成 22 年度支部事業計画

1. 北海道支部

1. 事業

1.1 溶接技術競技大会

開会式挨拶

日 時：未定

場 所：未定

1.2 北海道支部長賞の授与

日 時：未定

場 所：未定

1.3 見学会：未定

1.4 講習会：未定

1.5 研究会：未定

2. 会務報告

2.1 平成 22 年度支部商議員会並びに支部総会

日時：平成 22 年 3 月 4 日（木）16:00～17:00

場所：北海道大学工学部本館 A1-51 室

2.2 幹事会：2 回開催予定

2.3 各賞授賞者審査委員会及び選考委員会

(1) 溶接学会溶接技術普及賞審査委員会

(2) 溶接学会溶接技術奨励賞審査委員会

(3) 溶接学会奨学賞・溶接学会北海道支部学生奨学賞選考委員会

(4) 溶接学会溶接学術振興賞

2. 東北支部

1. 事業

1.1 第 22 回溶接・接合研究会

日 時：平成 22 年 7 月 23 日（金）13:00～17:00

場 所：八戸市内

講演発表：10 件程度

参加者数：50 名程度

1.2 刊行：なし

2. 会務

2.1 第 47 回商議員会

日 時：平成 22 年 5 月 15 日（土）11:00～12:00

場 所：東北地区溶接技術検定委員会会議室にて開催

2.2 表彰

日 時：平成 22 年 5 月 15 日（土）12:00～12:30

場 所：東北地区溶接技術検定委員会会議室にて開催

2.3 総 会：商議員会議事録抜粋を支部会員に郵送（平成 22 年 6 月中旬）

3. 東部支部

1. 第 38 回 実用溶接講座（見学会&講習会）

平成 22 年秋に実施予定

主 題：詳細検討中

2. 地区講演会・講習会

(1) 東京地区 （地区委員長：村田義明（日鐵住金溶接工業）：溶接技術講習会実施予定（（社）日本溶接協会と共催）講演題目等は現在調整中

(2) 神奈川地区 （地区委員長：飯島 亨（IHI）：溶接技術講習会

主 題：「溶接・切断の安全衛生」

主 催：（社）神奈川県溶接協会

共 催：（社）溶接学会東部支部神奈川地区委員会

開催日：平成 22 年 3 月 17 日（水）9:30～16:40

開催場所：日本溶接技術センター，5 階講堂

講演題目（講師，敬称略）：

1. 溶接の安全衛生に関する関係法令（東洋大学，神山宣彦）

2. 溶接におけるヒュームについて（神戸製鋼所，清水弘之）

3. 溶接におけるガスの有害性について（日本溶接協会，小笠原仁夫）

4. 防じん対策（興研，岩崎 毅）

5. 溶接用呼吸用保護具について（重松製作所，渡邊 学）

6. 有害光線と遮光保護具について（労働安全衛生総合研究所，奥野 勉）

7. 溶接の感電・電撃の危険性（埼玉大学，山根 敏）

8. 火災・爆発・熱の危険性（神戸製鋼所，宮崎邦彰）

9. 熱切断における安全衛生（日酸 TANAKA，指方順一郎）

溶接技術講習会

主 題：「チタン利用に関する溶接実務教育講習会」

主 催：（財）日本溶接技術センター

共 催：（社）溶接学会東部支部神奈川地区委員会

開催日：平成 22 年 3 月 11 日（木）～3 月 12 日（金）

開催場所：日本溶接技術センター

講演題目：

1. 「講義」チタンの材料特性とその利用技術（成形性，加工性）

2. 「講義」チタンの溶接技術－TIG 溶接について

3. 「実習」ビードオンプレート／基本技法とそのポイント

4. 「講義」チタンの溶接技術－施工技術の留意点

5. 「実習」チタン溶接技術－下向き突合せ溶接

(3) 千葉地区 （地区委員長：加藤数良（日本大学））：

溶接技術講習会

主 題：「最近の鉄鋼材料・溶接材料・大型構造物について」

主 催：（社）千葉県溶接協会

共 催：（社）溶接学会 東部支部 千葉地区委員会

開催日：平成 22 年 3 月 26 日（水）9:30～15:40

開催場所：千葉県産業支援技術研究所

1. 鉄鋼材料の最近の溶接技術について（JFE スチール，安田功一）
2. 最近の溶接材料について（日鐵住金溶接工業、村田義明）
3. 東京国際空港（羽田空港）D 滑走路建設工事における溶接施工耐海水性ステンレス鋼被覆の溶接方法（新日鉄エンジニアリング，木村文映）
4. 東京スカイツリーについて（駒井鉄工，塚本勝雄）
- (4) 茨城地区（地区委員長：平野 聡（日立製作所））：溶接技術講習会開催予定（詳細未定）
- (5) 埼玉地区（地区委員長：山根 敏（埼玉大学））：アーク溶接機器の取り扱いについての講習会開催を検討中（詳細未定）
- (6) 栃木地区（地区委員長：中島章典（宇都宮大学））：溶接技術講習会開催予定（詳細未定）
- (7) 群馬地区（地区委員長：楠元一臣（群馬大学））：溶接技術講習会
主催：溶接学会東部支部群馬地区
協賛：群馬地区技術交流研究会，(財)地域産学官連携ものづくり研究機構
開催日：平成 22 年 3 月 18 日(木) 13:00～16:30
開催場所：群馬大学太田キャンパス
セミナー名：溶接ロボット入門－講義と実習－
内容など：溶接ロボットの基礎事項を中心とした座学と実機による実習を行う。
講師：ダイヘン溶接メカトロシステム(株) 種田 博氏
定員：12 名
溶接技術講習会
主催：溶接学会東部支部群馬地区
協賛：群馬地区技術交流研究会，(財)地域産学官連携ものづくり研究機構
開催日：平成 22 年 3 月 19 日(金) 13:00～16:30
開催場所：群馬大学太田キャンパス
セミナー名：プラズマ・レーザ加工入門－講義と実習－
内容など：講義（講師，敬称略）
(1) 熱切断の原理と特徴（群馬大学・楠元一臣）
(2) プラズマ切断の性能と品質・安全（小池酸素工業(株)・田所 修）
(3) レーザ切断の性能と品質・安全（日酸 TANAKA(株)・石井幸二）
- (8) 新潟地区（地区委員長：宮下幸雄（長岡技術科学大学））：溶接技術講習会
主 題：ステンレス鋼の溶接プロセス
主 催：(財)新潟県県央地域地場産業振興センター，溶接学会東部支部
開催日時：平成 22 年 3 月 25 日（木）13:30～17:30
開催場所：(財)新潟県県央地域地場産業振興センター 三条・燕地域リサーチコア
講演題目（講師，敬称略）：
1. ステンレス鋼のアーク溶接－ステンレス鋼におけるトラブル事例と対策（株）クロセ，葛西省五
2. ステンレス鋼の抵抗溶接－鉄道車両構体におけるス

テンレス鋼の抵抗溶接 東急車輛（株），大塚陽介

3. ステンレス鋼のレーザ溶接－その溶接性と重工業における応用（株）IHI，山岡弘人
- (9) 山梨地区（地区委員長：宮川和幸（山梨県工業技術センター））：来年度は定なし
- (10) 長野地区（地区委員長：中込忠男（信州大学））：溶接技術講習会開催予定（詳細未定）
3. 平成 22 年度，支部通常総会
開催日時：平成 22 年 5 月 14 日（金）15:00～17:00
開催場所：(社)溶接学会，会議室
議 題：
平成 20 年度事業報告および会務報告承認の件
平成 20 年度収支決算報告承認の件
平成 20 年度事業および収支決算に関する監査報告
支部規約改正および支部運営細則の廃止の件
役員改選にともなう新役員承認の件
平成 21 年度事業計画承認の件
平成 21 年度収支予算承認の件
平成 20 年度溶接技術奨励賞および溶接技術普及賞の受賞式
4. 表彰
1) 平成 21 年度 溶接技術奨励賞，溶接技術普及賞の表彰
平成 22 年 5 月 14 日（金），(社)溶接学会，会議室
支部総会にて受賞式を行い表彰する。
受賞祝賀会：受賞式終了後，秋葉原周辺にて実施予定。
2) 平成 21 年度溶接学会奨学賞の表彰
平成 22 年 3 月
楯を推薦者に送付し，推薦者から受賞者に楯を授与して表彰する。
5. 常任幹事会・地区委員長会議
年 4 回，適宜開催する。
4. 東海支部
1. 事業
1.1 溶接研究会，講習会など
(1) 溶接研究会
第 72 回 平成 22 年 7 月 名古屋市工業研究所
第 73 回 平成 22 年 10 月 名古屋市工業研究所
第 74 回 平成 23 年 2 月 名古屋市工業研究所
(2) 講習会（若手技術者向け）
第 17 回溶接技術講習会 平成 22 年 11 月
2. 会務
2.1 平成 22 年度支部総会及び特別講演
日 時：平成 22 年 5 月
場 所：名古屋市工業研究所
議 事：
1) 平成 22・23 年度支部役員の確認
2) 平成 21 年度事業報告及び決算報告
3) 平成 22 年度事業計画案及び予算案の審議
4) 平成 23 年度秋季全国大会実行委員会設置の件
5) 支部三賞授賞式
6) フェロー授与者のご紹介
特別講演 2 件
- 2.2 支部商議員会
第 1 回商議員会 平成 22 年 5 月 名古屋市工業研究所

第2回商議員会 平成22年11月 名古屋市工業研究所

第3回商議員会 平成23年3月 名古屋市工業研究所

5. 北陸支部

1. 事業

1.1 特別講演会

開催回数：2回

開催日：7月，11月

場所：富山県工業技術センター

テーマ：未定

1.2 工場見学会 開催日，場所等未定

1.3 研究発表会 開催日：11月場所，内容は，未定

2. 会務報告

2.1 平成22年度通常総会

開催日：7月予定

場 所：富山県工業技術センター

2.2 商議員会

開催日，場所：通常総会と同時開催

6. 関西支部

1. 事業

(1) 平成22年度講演・工場見学会

関西地区の工場見学および研究発表を計画（平成22年秋頃，
場所・テーマ未定）

(2) 上記研究発表テキストを刊行予定

2. 会務

(1) 役員会

平成22年度役員会を平成22年5月頃に開催予定（場所未定）

7. 中国支部

1. 事業計画

1.1 研究会・見学会

日程，場所：未定

参加者数：50名程度（過去実績）

1.2 溶接技術講習会

題目，日時，会場：未定

参加者数：40名程度（昨年度実績）

1.3 第7回 溶接・接合工学会学修会【若手会員の会との共催（予定）】

日程，場所：未定

趣旨：溶接学会の増員，中国支部の若手技術者の基礎力養成
内容：中国支部・若手会員の会運営委員会から5名程度の
講師による講義

参加者数：50名程度（過去実績）

2. 会務計画

2.1 第1回 幹事会

日程：平成22年6月（予定）

議題：研究会・見学会，溶接・接合工学会学修会，講習会等打
合せ

2.2 第2回 幹事会・受賞審査委員会

日程：平成22年12月（予定）

議題：22年度事業・会務報告，23年度事業・会務計画立案，
各種表彰推薦者の審査

2.3 第3回 幹事会・商議員会合同会議

日程：平成23年3月

議題：22年度事業・会務報告，23年度事業・会務計画説明，

奨学賞受賞報告

2.4 総会・特別講演会

日程：平成23年3月

議題：22年度事業・会務報告，22年度事業・会務計画説明，
表彰式

受賞記念講演会：2名程度

8. 四国支部

1. 事業

1.1 講習会，セミナー

1.1.1 平成22年度溶接技術実用講座（予定）

日時：平成22年7月30日（金）

場所：香川県産業技術センター

1.1.2 第15回材料関連学協会支部・研究会連合講演会

日時：平成22年3月12日（金）

場所：愛媛県産業技術研究所

1.2 刊行

出版物名：第15回材料関連学協会支部・研究会連合講演
会講演概要集

2. 会務報告

2.1 平成17年度通常総会

日時：平成22年7月30日（金）

場所：香川県産業技術センター

2.2 常任幹事，地区委員長会議

2.2.1 第1回幹事会

日時：平成22年3月12日（金）

場所：愛媛県産業技術研究所

9. 九州支部

1. 事業

1.1 平成22年度溶接学会九州支部研究発表会

会期：平成22年7月23日（金）9:00～17:00（予定）

会場：九州大学箱崎キャンパス

研究発表5～10件

参加者：30～40名

1.2 第3回 若手グループ研究会・見学会

日時，会場 調整中

1.3 溶接技術者育成教育

1.4 刊行

出版物名：溶接学会九州支部講演論文集，第6号

2. 会務

2.1 平成22年度商議員会

日時：平成22年7月23日（金）12:00～13:00（予定）

会場：九州大学箱崎キャンパス

2.2 表彰

日時：平成22年7月23日（金）13:00～13:10（予定）

会場：九州大学箱崎キャンパス

平成21年度溶接学術振興賞：1名

平成21年度溶接技術奨励賞：1名

平成21年度溶接技術普及賞：1名

平成21年度本部奨学賞（報告）：2名

平成21年度九州支部奨学賞（報告）：2名

2.3 平成22年度通常総会

日時：平成22年7月23日（金）13:10～13:30（予定）

会場：九州大学箱崎キャンパス